

# 茨城高等学校・中学校創立100周年記念募金

令和9年（2027年）に創立100周年を迎えます

## 募金趣意（ご挨拶）

### ご挨拶

茨城高等学校・中学校は、令和9年（2027年）に創立100周年を迎えます。これまでに茨城中学校の卒業生は13,000名以上、旧制中学を含めた茨城高等学校の卒業生は22,000名近くに達し、多くの卒業生が、建学の精神「報恩感謝」を胸に刻み、各界各方面で活躍しております。これも皆様のご支援・ご協力の賜物と感謝申し上げます。

本校は、報恩感謝の精神のもと時代を切り拓くことのできる人材の育成を目指し、多くの教育実践・改革を推進してまいりました。探究授業のカリキュラム化、オンライン英会話の導入、医学コース・国際教養コースの設置、そしてICTを活用した最先端教育。とりわけICTの活用は、コロナ禍での充実したオンライン授業を可能にしました。その質は全国的に見ても高い水準に達しており、県内公立高校からの視察も行われました。

さて、創立100周年を迎えるにあたり、茨城高等学校・中学校教育のさらなる発展の契機とすべく以下のような周年事業を企画しております。

- 1 記念式典
- 2 記念シンポジウムの複数開催
- 3 記念誌・会報の発刊
- 4 グローバル教育・探究活動・ICT教育の推進
- 5 教育環境（施設・グラウンド）の拡充
- 6 新しい教育を創出する学習支援センター（仮称）の新築

特に、新施設となる学習支援センター（仮称）は、100周年事業の柱です。創設者飯村丈三郎先生の各種記念となる資料を展示・保管することはもとより、学年・学校の枠を超えた多様な学びが実践

される拠点となります。生徒のニーズに応じた各種講座の開講、学び直しの機会の提供など、生徒一人ひとりを大切にし、その個性を尊重し、その才能を伸ばす教育活動を展開いたします。また、学校を支えてくださるPTA・後援会（蒼穹会）活動・同窓会活動にもご活用いただく予定です。

この100周年という大きな節目に向け、本校教育のなお一層の先進性と、今後の方向性を広く内外に発信するべく、教職員一同そろって努力いたします。そして「創立100周年記念募金」は、周年事業の実現に不可欠な資金として、大事に活用させていただきます。

つきましては、多くの方々のお力添えを仰ぎたいと存じます。なにとぞ、事業の趣旨をご理解いただきまして、格段のご協力・ご支援を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

令和5年11月吉日



学校法人茨城  
理事長 種田誠



茨城高等学校・中学校  
校長 梶克治



高校同窓会  
会長 大津順一郎



中学同窓会  
会長 佐々木幸一



PTA  
会長 紺谷智則



蒼穹会  
会長 後藤直樹

## 沿革

昭和 2 年 (1927年)	飯村丈翁私財10余万円を寄付し財団法人茨城中学校を設立
12 年 (1937年)	茨城中学校創立10周年記念式典
23 年 (1948年)	茨城中学校を茨城高等学校と改称, 茨城中学校を併設する
32 年 (1957年)	創立30周年記念式典
41 年 (1966年)	中高一貫Aコースがスタート
47 年 (1972年)	高校制服自由化
52 年 (1977年)	創立50周年記念式典
62 年 (1987年)	創立60周年記念式典挙行政
平成 7 年 (1995年)	男女共学中高一貫制度を導入
9 年 (1997年)	創立70周年記念式典
15 年 (2003年)	「飯村丈三郎先生生誕150周年記念」講演会・シンポジウム
19 年 (2007年)	創立80周年記念式典
23 年 (2011年)	新校舎 (A棟, C棟) 完成
29 年 (2017年)	創立90周年記念行事
31 年 (2019年)	医学コース設置
令和 2 年 (2020年)	国際教養コース設置 水戸医療センターと連携協定 カリフォルニア大学デービス校 国際教育センターと連携協定
4 年 (2022年)	国際医療福祉大学と連携協定



茨城高等学校、中学校正門（昭和25年）



新校舎建設(平成20年～平成23年)

## 学習支援センター（仮称） 新築について

### 建築物用途

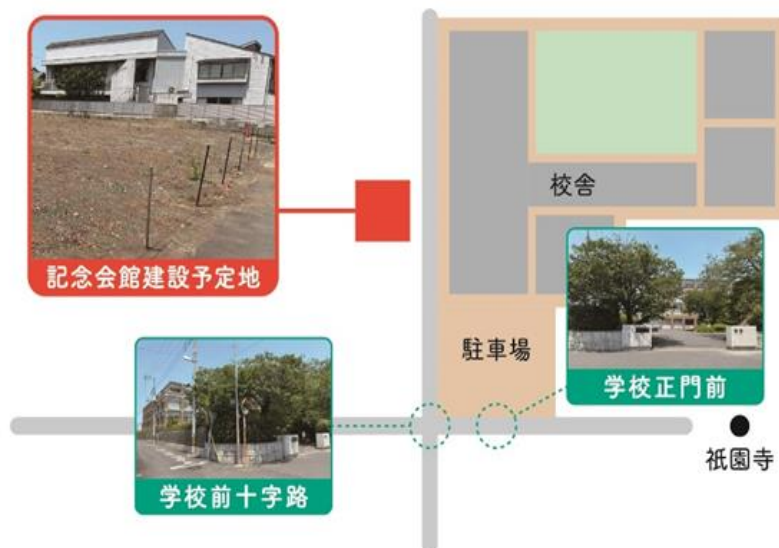
- ・飯村丈三郎先生の各種記念となる資料の展示や保管
- ・生徒の学力向上を目的とする教育活動の実施、学び直しの機会提供等の学習支援
- ・同窓会、PTA、後援会（蒼穹会）の活動を支援する場の提供

### 建築物構造

木造二階建

### 建築期間

令和7年～令和8年



## 減免措置その他

「領収書」（法人の場合は「領収書」と「特定公益増進法人であることの証明書（写）」を添え、当該年度の確定申告の手続きをお取りください。

### 1 個人の場合

1) 所得控除 寄附金の額 - 2千円 = 寄附金控除額

2) 住民税控除

県民税（茨城県）（寄付金の額 - 2千円） × 6% = 寄附金控除

※茨城県以外につきましてはお住いの都道府県にお問い合わせください。

市民税（水戸市）（寄付金の額 - 2千円） × 4% = 寄附金控除

※県内の水戸市以外につきましては茨城県ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.ibaraki.jp/somu/zeimu/kikaku/faq/siteikifukin/documents/shichouson2023.pdf>



### 2 法人の場合

特定公益増進法人に対する寄附金の損金算入限度額

（資本金 × 0.375% + 当該年度所得 × 6.25%） × 1/2

上記を超えた分は一般寄附金として損金算入できます。

（資本金 × 0.25% + 当該年度所得 × 2.5%） × 1/4

個人情報取扱 ご寄附により取得した個人情報は本募金に関する業務にのみ利用させていただきます、守秘義務を厳守いたします。

## 募金委員会 委員一覧

委員は下記のとおりです。ご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

委員長 佐々木幸一

副委員長 寺門祐児 関口哲也 小野瀬剛

高輪忍 加藤雅之 岡崎謙一

※令和5年10月31日現在

※各地域・職域同窓会に随時依頼する等今後も増員予定

学校及び学校関係者・卒業生					
種田誠 中14回卒	鬼形正人 理事・元校長	梶克治 高35回卒	岡崎謙一 元副校長	大津順一郎 高22回卒	前田真一 高18回卒
紺谷智則 高38回卒	嶋志田剛 高44回卒	作山元子 PTA副会長	後藤直樹 蒼穹会会長	山口勝己 高35回卒	小田部卓 元評議員
瀬尾文洋 高18回卒	浅川清司 高23回卒	照沼毅 高24回卒	岩下亮 高24回卒	佐々木幸一 高26回卒	寺門祐児 高27回卒
関口哲也 高27回卒	原毅 高28回卒	小野瀬剛 高31回卒	村田智明 高32回卒	細田弥太郎 高33回卒	高輪忍 高36回卒
小宅雄一郎 高41回卒	檜山英雄 高41回卒	安隆之 高43回卒	長谷川宗広 高48回卒	大山壮郎 高48回卒	中本邦彦 中20回卒
谷萩陽一 中25回卒	橘川栄作 中30回卒	幡谷史朗 中31回卒	加藤雅之 中33回卒		
地域・職域同窓会					
寺内拓男 高21回卒	茨城町支部 会長	石田富歳 高20回卒	茨城町支部 副会長	雨谷義雄 高23回卒	茨城町支部 副会長
根本芳邑 高12回卒	茨高野球部OB会 会長	小林一裕 高31回卒	茨高野球部OB会 副会長		
磯崎満 高21回卒	湊いばら会 会長				

お問い合わせ先

学校法人茨城 法人事務局 〒310-0065 茨城県水戸市八幡町 16-1

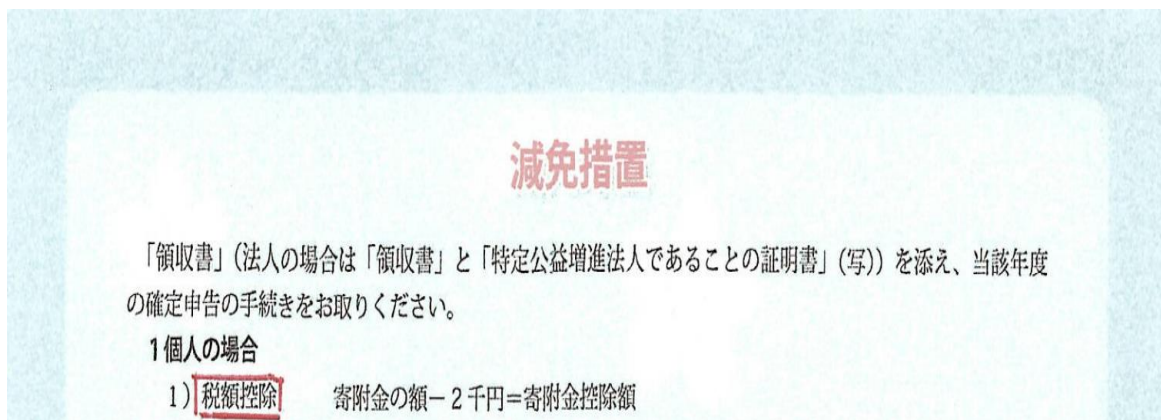
電話 029-221-4936 FAX 029-221-4923

岡崎（募金委員）Email：k.okazaki@ibaraki-jsh.ed.jp

宇野（法人職員）Email：d.uno@ibaraki-jsh.ed.jp

## 「創立 100 周年記念募金」ご案内の文書（趣意書）について お詫びと訂正

会員の皆様にお送りしております「創立 100 周年記念募金」ご案内文書（趣意書）の最終ページ「減免措置」につきまして、下記のとおり一部訂正させていただきます。



**誤** 1) 税額控除（枠で囲った部分）

**正** 1) 所得控除

本校への寄附で適用される個人の寄附控除は「所得控除」になります。なお、計算式に訂正はありません。「税額控除」ではございませんのでご了承ください。

お詫びして訂正いたします。ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

（所得控除の例）

（1）1 万円を寄附した場合

1 万円（寄附金の額） - 2 千円 = 8 千円が所得金額（税額を計算する前の所得）から控除されます。

（2）5 万円を寄附した場合

5 万円（寄附金の額） - 2 千円 = 4 万 8 千円が所得金額（税額を計算する前の所得）から控除されます。

以上